



5/10(金) 浦添市赤十字奉仕団 出発式で寄付呼びかけ

「人間を救うのは、人間だ」をスローガンに活動している日本赤十字の活動資金募集のため、浦添市赤十字奉仕団会費募集出発式が市役所1階ロビーで行われました。

毎年5月は赤十字運動月間となっており、団員たちは、市内企業を訪問しながら赤十字活動への協力を呼びかけます。浦添市赤十字奉仕団の宮里時子委員長は「世界各地の自然災害や紛争による犠牲者への支援活動が必要となっています。国内外になかなか出向くことができない私たちにできることは、活動資金募集への協力です。ひとりでも多くの人に赤十字社の会員登録をお願いしたい」と意気込みを語りました。寄せられた会費は、災害救助資金などの赤十字事業に活用されます。



5/11(土) 新しい「学びの場」 プログラミング道場

てだこホールマルチメディア学習室でCoderDojo浦添が運営するプログラミング道場が開催されました。これは市制施行50周年事業の一つで、小中学生を対象にプログラミング言語を使ってゲームやアプリ作りなどを行い、次世代の人材育成を図ることを目的としています。

全15回のうち2回目となる今回は、キーボードの指を置く位置を学び、ゲームを使ったタイピング練習を行いました。子どもたちはたくさんのゲームに興味津々で「小指や薬指で打つところが難しかった。ミスがなくなるまで頑張りたい」と指が疲れるまで夢中で取り組んでいました。



5/9(木) ゴーヤーで広がる笑顔のつながり

地域で子どもたちに早めの帰宅を呼び掛ける「Go 家運動」のPR活動として、わかば種苗店の照屋幸勇さんから浦添市内の小中学校と自治会へゴーヤーの苗が贈られました。照屋さんはゴーヤーの栽培を通して先生方や家庭の人と子どもたちがふれあうきっかけづくりになればという思いで平成24年から毎年続けています。

贈呈式は浦添中学校で行われ、美化委員長の千葉大知さんは「昨年いただいたゴーヤーの苗は大切に育ててりっぱな実をつけました。大切に世話をするとどんだんのびるゴーヤーのツタのように、私たちの活動が地域に広がってさまざまな方と笑顔のつながりができたらいいなと思います」と感謝の気持ちを込めてあいさつしました。



5/11(土) いろいろな生き物が住める豊かな森へ

浦添市カルチャーパーク内で「カブトムシの森づくり」植樹祭が行われました。緑化活動を推進する目的で開催された植樹祭では、子ども達に人気のある昆虫カブトムシやその他の生きものが将来的に住めるような環境を創造するため、カブトムシが好むとされるシマトネリコの苗木を中心に植樹しました。

松本市長は「将来大人になった時に、次の子ども達にこの森は私たちが育てたんだよ、と胸を張って言ってください」とあいさつし、沢岬小2年の島村太陽くんは「カブトムシがいっぱい集まってきてくれたらうれしい」と笑顔で話しました。



5/15(水) 組踊上演300周年 未来へつなぐ伝統芸能

沖縄の本土復帰と同時に組踊が国の重要無形文化財に指定された日である5月15日に、国立劇場おきなわで組踊上演300周年記念事業開幕式典が開催されました。芸能関係者や関係団体など約380人が集まり、組踊の将来にわたる継承・発展を誓いました。

式典の記念公演では、組踊の創始者である玉城朝薫の「執心鐘入」が上演され、優雅な動きや地謡による音楽で参加者を魅了しました。舞台左右の電光掲示板には標準語の字幕が映し出されており、初めての人でも楽しめる内容となっていました。今後、300周年記念事業として県内外の巡回公演や記念展示などさまざまなイベントが予定されています。



5/8(水) 春の全国交通安全運動出発式

浦添市役所市民広場で春の全国交通安全運動出発式が行われました。

「登下校 いつもの道こそ 要注意」をスローガンに、交通ルールの再確認や夜間外出時の事故防止対策などを呼びかけました。

出発式では、大平保育所の園児たちが元気いっぱいのダンスを披露し、さらに宮古島まもるくんの登場に会場はにぎやかになりました。浦添警察署の瑞慶山力署長は、「浦添警察署は交通死亡事故ゼロ1年を達成しました。署ができて34年経ちますが初めてのことで。これからも記録をのばしていきたい」と力強く話しました。



4/18(木) 市民憲章を实践して地域に貢献

市民憲章実践者表彰式が市役所9階講堂で行われました。市では、自然愛、人間愛、遵法・公德心、勤労・健康、平和・文化の5部門からなる市民憲章を制定しています。その市民憲章を積極的に実践または推進を行ったと認められた個人13人、団体1団体が表彰されました。

受賞者代表あいさつをした銘苅さんは「空手指導を通し、子どもたちの健全育成と、大人になって社会で活躍してほしいという思いで地域活動を続けてきました。子どもたちの希望に満ちた輝かしい将来に携われることを誇りに思い、これからも地域に貢献できるよう頑張っていきたい」と新たな決意を述べました。